



2025年2月14日

各位

会社名 キリンホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 COO 南方 健志  
(コード：2503、東証プライム市場)  
本社所在地 東京都中野区中野四丁目10番2号  
問合せ先 財務戦略部長 松尾 英史  
(TEL. 03-6837-7015)

**2024年通期連結業績予想と実績との差異及び事業構造改善費用等の計上、  
単体業績における関係会社株式評価損等の計上について**

キリンホールディングス株式会社（代表取締役社長 COO：南方 健志、以下「当社」）は、2024年12月期において事業構造改善費用等を計上いたします。これに伴い、2024年11月7日に公表した業績予想と実績値との間に差異が生じました。

また、豪州子会社である Lion Pty Ltd（以下「ライオン」）の関係会社株式評価損等の計上により当社単体業績に影響がありますので、下記の通りお知らせいたしますが、連結業績に影響はありません。

記

**1. 2024年12月期連結業績予想値と実績値の差異**

2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上収益	事業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,300,000	202,000	198,000	127,000	96,000	118.20
実績値 (B)	2,338,385	210,968	139,721	85,811	58,214	71.87
増減額 (B - A)	38,385	8,968	△58,279	△41,189	△37,786	—
増減率 (%)	1.7	4.4	△29.4	△32.4	△39.4	—
(参考) 前期連結実績 (2023年12月期)	2,134,393	201,495	197,049	150,438	112,697	139.16

## 2. 差異の理由

2024年11月22日付のリリース「協和発酵バイオの一部事業譲渡及び事業構造改善費用等計上について」にてお知らせした通り、協和発酵バイオ株式会社（以下「協和発酵バイオ」）のアミノ酸及びヒトミルクオリゴ糖事業の譲渡契約の締結に伴い、2024年12月期において、契約締結に伴う譲渡損失の引当金繰入額や一時費用を、連結損益計算書における事業利益や「その他の営業費用」の事業構造改善費用等に約270億円を計上します。また、海外ビール事業を行う持分法適用会社の減損損失を「持分法による投資の減損損失」として約190億円を計上したことなどにより、業績予想値と実績値に差異が生じております。

## 3. 単体業績における関係会社株式評価損等の計上

IFRSに基づきライオンで実施した減損テストの結果、家計支出の縮小により酒類消費の減少が継続していること、インフレ圧力などにより売上原価が高騰していることを主な要因として、同社の豪州事業の見積り公正価値（約3,200百万豪ドル）が減損損失計上前の純資産額（約5,100百万豪ドル）を下回る事となりました。よって、ライオンにおいて2024年12月期にその差額である約1,900百万豪ドル（約1,900億円）の減損損失を計上します。それに伴い、当社の単体損益計算書において、約3,940億円を「関係会社株式評価損」として計上します。

また、協和発酵バイオの一部事業譲渡に伴う同社に対する貸倒引当金の発生により、当社の単体損益計算書において、約530億円を「貸倒引当金繰入額」として計上します。

ライオンにおける減損損失、及び当社の単体決算における同社に対する関係会社株式評価損、並びに協和発酵バイオに対する貸倒引当金繰入額は、当社連結業績への影響はありません。

## 4. その他

今回の業績予想と実績の差異に伴う配当（期末配当 35.5 円、年間配当 71.0 円）に変更はありません。